

# 街の灯 (City Lights)

観賞日 2023年1月23日 上映時間 87分

## 【概要】

制作 1931年 アメリカ

監督 チャールズ・チャップリン

脚本 チャールズ・チャップリン

音楽 アルフレッド・ニューマン、チャールズ・チャップリン

撮影 ローランド・トザロー、ゴードン・ポロック

出演 チャールズ・チャップリン (浮浪者)

ヴァージニア・チェルリ (盲目の花売り娘)、ハリー・マイヤーズ (富豪)



## 【あらすじ】

1929年、アメリカ。浮浪者のチャップリンは、ある日街角で貧しい盲目の花売り娘と出会い恋をする。その晩、自殺しようとした酔っ払いの富豪を救い親しくなる。娘の関心をひこうと、「あしながおじさん」を気取るチャップリンと、「白馬の王子様」を想像する花売り娘。娘の目を治そうと奮闘するチャップリンはボクシングに挑戦するがそううまくはいかない。漸く富豪から得た資金を娘に渡すが、その後泥棒と間違われて逮捕されるチャップリン。何か月後かのある日、視力を回復した娘の前に、薄汚い浮浪者が現れる。花売り娘はふとしたことから、その浮浪者が夢にまで見た「白馬の王子様」であることに気づいて・・・。

チャップリン映画の中でも最も評価の高い作品。笑いあり涙ありのサイレント映画の最高傑作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●サイレント映画だからできること

サイレント映画の表現は役者の表情、身振り、手ぶり最低限の字幕だけで、あとは受け手の想像力。本作で娘が最後に発した字幕の出ない言葉は何だったのか？

#### ●チャップリンのメッセージ

本作で描いている時代は1929年の大恐慌直後

チャップリンの視点：他人への思いやり、弱い者の立場にたつ

「目が見えないときに見えたものが、目が見えるようになると見えなくなる」花売り娘

「酔っていた時に人間性を回復し、素面になると人間性を失う」富豪

### ■見どころ、

#### ●あまりに有名なラストシーン：映画史に残る名台詞「You？」

ここに至るまでに張り巡らされた多数の伏線を一気に回収

#### ●喜劇役者として面目躍如のギャグシーン

冒頭の記念碑除幕式シーン

笛を飲み込むシーン

スパゲッティを食べるシーン

ボクシング：本作中最高のギャグシーン

その他多数

